

I-1 広島県福山市立光小学校

(1) 〒720-0831 広島県福山市草戸町四丁目 14-1

【現在の学年別学級数】

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	合計
学級数	3	2	3	2	2	3	15
児童数	82	81	77	76	78	84	478

【教職員別人数】

校長	教頭	教諭	養護教諭	事務	学校技術員	給食士	非常勤講師	計
1	1	20	1	1	1	4	4	33

(2) 学校の沿革

- 1956年 5月 霞小学校分校として発足
- 1957年 4月 光小学校開校
- 1985年 10月 県小研社会科研究大会
- 1993年 4月 福山市で初のティームティーチング導入
- 1994年 11月 光小学校PTA文部大臣表彰受賞
- 1996年 9月 光小学校創立40周年記念式典・講演
- 1996年 10月 ひろしま国体開会式集団演技に参加
- 1999年 2月 教育研究会（総合的な学習・児童発表・講演）開催
- 1999年 6月 平成11.12年度文部省教育課程指定校となる
- 1999年 10月 パソコン教室設置
- 2000年 1月 教育研究会（総合学習・児童発表・講演）開催
- 2001年 1月 教育研究会（総合学習・児童発表・講演）開催
- 2001年 11月 教育研究会（総合的な学習・生活科・児童発表・講演）開催
- 2002年 11月 教育研究会（総合的な学習・生活科・国語科・児童発表・講演）開催

(3) 最近の研究動向と「内容系列表」の作成

本校では、7年前より、教科、道徳、特別活動を通して、また、生活の中でも自ら学ぶ力（問題解決力）をつけることを教育の中心においてきた。総合的な学習でも同じように考え、実践してきた。

総合的な学習を始めた頃は、国際理解や環境問題を入り口として取り組んだ。

実践を重ねる中で、総合的な学習だからこそできること、光小学校だからできることを大事にしていかなければならないと考えるようになり、地域を題材にしたもの（4年「21世紀に流れゆけ、芦田川」）、地域の人やさまざまな人とのふれあいをテーマ

にしたもの（5年「地域の人とやさしい心を伝えあおう」）、6年「もっと自分を輝かせよう」を生みだした。そして、これまでの実践をまとめ、昨年度、『人に学び、地域に生きる』というテーマを設けた。地域を題材にした、より身近な単元を設定することで、自分の生活を見つめ、総合的な学習でつけた力を生活に生かしていくことができることを実感することができた。

「総合的な学習の時間」は、学習指導要領では各教科のように目標や内容は示されず、各学校において教育課程を創意工夫し、具体的な目標や活動内容を定めることをゆだねられている。

本校では、学年ティーム・ティーチングで総合的な学習に取り組み、子どもたちと共に単元を創り出してきた。その中で、学年の複数の教師がオープンマインドで、多少の遊び心とチャレンジ精神をもってアイデアを出し、話しあいを重ねたり子どもの思いや願いを引き出したりしながら進めてきた。

取り組みを重ねていくうち、単元づくりを進めるときよりもよりのところになるものが必要ではないかと考えるようになった。

そこで、昨年度、今まで実践してきた単元をもとに、「系列表」を作成した。この「系列表」は、学びの積み上げを大切にし、子どもたちを6年間でどう育てていくのかを明らかにしており、本校の単元づくりの指針になるものである。

また、新たな単元を開発するときには、子どもの実態や教師や子ども願いをとり入れ、子どもと教師が相談しながら行うが、系列表をもとに、単元目標や内容のおさえる視点をはっきりさせていくのである。

今年度は、生活科と総合的な学習のつながりを考え、系列表の見直しをした。今後も見直しを重ね、本校独自の「系列表」をつくっていきたい。

次のものは、2002年度のものである（次頁参照）。

